



2010年2月

# さくら

発行：偕行会透析医療事業部 さくら編集委員会

## 「がん」は決して怖い病気ではありません。

医療法人名古屋放射線診断財団 理事長 岩田 宏

がんは一つの細胞から増殖を繰り返し、急激に大きくなります。

多くの場合、体内で1cmの大きさになるまでにはおよそ10～20年かかることがありますので、小さいうちに発見できれば早期に治療がはじめられ、完治する可能性も高まることとなります。

早期発見ができれば早期の治療が可能になる・・・早期発見、そのためには何か不安があったり、あるいは特に気になることがなくても定期的に健康診断を受けて定期的にチェックすることが大切なのです。

私共のセンターは、東海エリアの地域医療向上の期待に応えて新しい健診の拠点として、2008年1月に名古屋市千種区の愛知県がんセンター中央病院すぐ横に「東名古屋画像診断クリニック」を開設いたしました。

今回は当センターの健康診断の内容についてご案内させていただきます。

私共の健診の大きな特徴は、PET-CTだけでなくMRI、エコー、マンモグラフィ（女性のみ）などの先端機器を組合せて複数の検査を行い、「がん」の早期発見を可能にするという点です。

「PET-CT」というのは、あまり馴染みがないかもしれませんが、一度に全身のがんを見つけることが可能な「PET」とその位置や状態を確認する「CT」を一つにした最先端のがんの検査機器なのです。

